

2013年度事業報告

1. 事業の目的(美しい手賀沼の実現に向けての提言と参画)

「美手連は、関係市民団体及び手賀沼水環境保全協議会(手水協)、県、市などの自治体と協力・連携を図り、手賀沼浄化及び環境保全を進め広く市民に呼びかけます。」について

手水協の構成団体として、通常総会、担当者会議、幹事会、専門委員会に参加し、市民の視点から意見を提案しました。さらに、手賀沼流域フォーラム実行委員会の事務局を担い、手賀沼統一クリーンデイを主催するなど、手賀沼流域の行政や市民活動団体と協働し、市民の参加や参画による手賀沼流域の環境保全活動を進めました。

(1) 手水協 専門委員会への参画

手水協専門委員会は、学識経験者、住民代表、事業者代表（柏市環境保全協議会、我孫子青年会議所、柏市沼南商工会）、利水団体（手賀沼漁協、我孫子手賀沼漁協、手賀沼土地改良区、木下土地改良区）、県、流域市により構成され、「手賀沼水循環回復行動計画」の推進について専門的な検討をする目的としています。美手連から4名（八鍬、間野、塩野谷、半沢）が住民代表として参加しています。

3月の委員会では、水環境保全に係る平成24年度の取り組み実績と平成25年度の事業進捗の報告があり、昨年度見直した水循環回復行動計画の内、将来像についての今後のスケジュール、視点「望ましい将来の手賀沼とその流域の姿」、ワーキング構成員等について活発な議論がなされました。

(2) 手賀沼遊歩道についての提言

我孫子野鳥を守る会から、手賀沼ふれあい緑道の現状では歩行者と自転車の境界が認識しにくく、事故の危険性が高いため対策が必要との提案があり、平成24年9月柏土木事務所に「安全確保についての要望書」を提出しました。柏土木事務所との話し合いでは、救急車が出動する事故もあり憂慮しているとのことでした。平成25年11月この要望書に対して書面による回答を柏土木事務所で受け取りました。その席上で確認した内容のうち下記①②が3月までに実施されました。

- ① 自転車利用者への速度遵守看板の設置19枚
- ② ヒドリ橋付近の横断者注意の路面表示2ヶ所
- ③ 手賀沼トライアスロン実行委員会への協力依頼

今後は「緑道の利用に関する注意事項」の看板等に「緑道は自転車も歩行者も共同利用であり、片方の専用道路ではない」旨が理解できる表現を相互で検討していくことが望まれます。

2. 行政との協働事業

(1) 手賀沼統一クリーンデイの充実

「手水協、県、市などの自治体及び他団体との連携や情宣の工夫により参加者の拡大を進めます。清掃活動を通して、市民にゴミのない綺麗な環境を維持することの素晴らしさと大切さを体感して貢います。」について

第11回手賀沼統一クリーンデイは、昨年に引き続き我孫子地区、柏地区、沼南・下手賀沼地区、印西亀成川地区、白井地区の5地区で実施しました。今年度から、柏地区は大堀川と大津川の清掃区分けを設定して実施しました。広報については、各地区別のチラシを作成し配布したほか、千葉

西部読売会柏東支部・柏西支部、千葉北部読売会我孫子支部の協力を得て、チラシ 76,500 枚を新聞折り込みしました。

統一クリーンデイでは、清掃を実施する場所を中心となる団体が決定しています。柏地区は、今年度大堀川と大津川、沼南下手賀地区で清掃区分けをしましたが、美手連運営委員会との連絡や事前準備不足が課題となりました。

【柏（大堀川）地区】12月1日実施

実施場所：大堀川河口～手賀沼南岸

参加者：51名（北柏町会、竹中土木、柏市サイクリング協会、ナルク、大津ヶ丘中学校）

ゴミ収集量：大型ゴミを含めて 200kg

大津川をきれいにする会より、大津川地区の清掃をしたいとの希望があり、今年度より、ヒドリ橋たもとのあずまやを境として、大堀川と大津川の清掃区分わけを設定し、それに伴い、協力頂いている千葉銀行グループは大津川地区に参加して頂くことを事前協議し決定しました。

集合後挨拶・体操の後、大堀川河口の両岸に広がる柏ふるさと公園と北柏ふるさと公園から東へ手賀沼の湖岸を 4 班に分けて 1 時間 30 分清掃し、特に手賀沼南岸でのゴミについては、胴長着用でヨシの中に分け入っての奮闘となりました。終了後、柏ふるさと公園内にシートを敷き参加の皆さんとお茶を飲みながらビンゴゲームを楽しみ懇親を深めました。

【柏（大津川）地区】12月1日実施

実施場所：大津川双子橋～ヒドリ橋、手賀沼自然ふれあい緑道（ヒドリ橋を挟んだ東西約 2 km）

参加者：100名（千葉銀行グループ 84名、大津川をきれいにする会）

ゴミ収集量：700kg

千葉銀行グループとの初めての協働作業で、千葉銀行グループのペースで進みました。3か所に分かれ作業しましたが、真面目にゴミ拾いをしている方も多い中何も持たずただ歩いている人も目立ちました。互いの挨拶もなく始まってしまったことなど、事前準備、打ち合わせ不足が課題となりました。

【柏沼南・下手賀沼地区】12月1日実施

実施場所：金山落（桜堤）北面に並行して走る農道（農免道路）

参加者：22名（沼南ライオンズクラブ、県水質保全課、柏市環境部、沼南手賀沼ボランティア会）

ゴミ収集量：230kg（大量のタイヤの回収もあり、実際は 3～5000kg と感じた）

事前に、柏市環境保全課の応援を得て草刈りを 7 日間実施しました。

当日は、手賀の丘公園からマイクロバスで現地へ移動し、3 グループに分かれて作業をしました。この地区は、昨年度より 3 年計画で始めましたが、今年度で終了することになったため、全域は無理かと思っていましたが、全区画を清掃することができました。

【我孫子地区】12月1日実施

実施場所：根戸新田（道路沿い手賀沼河畔）

参加者：443名（実行委員会 6 団体、一般参加 9 団体）

ゴミ収集量：310kg

我孫子市「手賀沼ふれあい清掃」の中で、美手連は今年度も根戸新田の道路沿い手賀沼河畔を担当しました。根戸新田道路から沼側に降りるハシゴ 6 箇所の設置、長靴、火バサミ、軍手の用意をアル

バトロスヨットクラブが実施しました。

夏の花火大会、台風によるゴミの吹き寄せなど、昨年よりゴミの多くなる要素があったにもかかわらず、ゴミの総量はそれほどではなかったのは、事前にヨシ等の刈り取りを柏土木事務所が実施したことによると思われます。

【印西亀成川地区】12月1日実施

実施場所：亀成川上流部とその流域斜面林沿いの道筋

参加者：37名（一般23名、印西市長、印西市職員2名、亀成川を愛する会）

ゴミ収集量：50kg

川両岸と斜面林沿いの道筋の2班に分かれて作業をしました。川沿いに1箇所衣類や毛布などがあったほか目立ったゴミはありませんでした。斜面林沿いでは、林の中や濁に畦板が放置されていました。一部道沿いを刈払機3台で草刈りをしました。集積ポイントに置かれた収集ゴミは、地元農家の方が出してくださった軽トラックで回収し指定集積所へ運びました。

作業終了後、地元町内会の根郷会館で、板倉印西市長と一緒に豚汁を食べ、食後には、地元の伝統行事の話を別所獅子舞保存会の方から聞きました。別所獅子舞は800年の歴史があるとのことで、わずか60数戸の小さな集落で、永々と続いていることに参加者のみなさんは感銘していました。

【白井地区】12月8日実施

実施場所：金山落（名内橋から今井3号橋）

参加者：47名（一般32名、白井市職員6名、県職員5名、鎌ヶ谷市職員1名、美手連3名）

ゴミ収集量：370kg

付近一帯10月15日の台風26号の被害で、大量のゴミが散乱していました。先発隊は、ゴミの散乱が著しい名内橋から作業を開始しました。両岸沿いの樹木などに農業資材のビニールなどが多数引っかかっていましたが、足場が悪く完全に取り除くことはできませんでした。後発隊は、比較的ゴミの量が少なかった今井3号橋から出発の班で、親子連れが中心となりました。

作業終了後、今井青年館に集合し、地元養鶏家から金山落の水害との闘いの話を伺い、美手連から手賀沼に関連した○×クイズを出題し、啓発を行いました。クイズの景品として地元平塚で活動しているNPO法人しろい環境塾の米を、参加賞として地元産の鶏卵と大根を用意し、好評でした。白井環境ネットワークの秋井さんが準備の交渉役を担ってくださいました。

今回のゴミ拾いでは、危険が伴うため川の中や岸辺の斜面のゴミなど取りきれない箇所が大変多く残ってしまいました。今後関係機関と対応策について検討を重ね、将来的には定期的にゴミ拾いを実施する市民団体などができることが望されます。

（2）流域フォーラムの開催

「2013年度（第17回）手賀沼流域フォーラムの事務局を担い、開催します。流域の団体、自治体と連携し実行委員会を組織して、大勢の市民参加をはかります。」について

地域企画は26団体により28企画が開催され、新たに4団体に参画してもらうことができました。また、全体会として山階鳥類研究所所長・国立科学博物館館長 林良博さんによる講演会「動物を絶滅から救うことの意味」を開催しました。林さんの講演では、平成22年度全体会として講演いただいた豊岡市の取り組みも紹介され、我孫子野鳥を守る会の間野会長による「カモから見た手賀沼～手賀沼のカモが減少したのは何故なのか～」の報告も合わせて、手賀沼の課題が深刻であること、さら

にどのような取り組みが求められているのかを教えていただきました。

昨年度より実施している手賀沼生き物調査事業として、「ハス群落の刈り取り実験」「手賀沼の魚類貝類調査」「特定外来生物ナガエツルノゲイトウ・オオカワヂシャ等の調査」を実施しました。

2013年度事業実績報告

	月日	企画名	企画団体	参加人数
柏	9/21	手賀川クルージングとウォーキング	手賀沼ガイドボランティア	20名
	9/22	秋のこんぶくろ池自然観察会	NPO法人こんぶくろ池自然の森	25名
	9/28	手賀沼サイクリング	手賀沼ガイドボランティア	3名
	10/6	下田の杜 ウォーキングガイドと里山の遊び	下田の杜里山協議会	6名
	10/6	大津川中流域の自然と歴史を訪ねる	大津川をきれいにする会	29名
	10/12	手賀沼船上見学と手賀沼周辺のゴミ拾い	沼南 手賀沼ボランティア会	19名
	10/13	大堀川わくわくウォーキング	大堀川の水辺をきれいにする会	26名
我孫子	5/18	緑のカーテンを作ろう！	我孫子市消費者の会	92名
	7/14	生きものと共生するかかしまつり ①かかし作り ②かかしまつり(コンテスト)	NPO法人手賀沼トラスト	①40名 ②79名
	7/28	手賀沼の生き物にもやさしい生活を 一せっけんでやさしさクター	我孫子市石けん利用推進協議会	43名
	9/28	手賀沼親子体験ヨット乗船会	NPO法人アルバトロスヨットクラブ	99名
	9/29	手賀沼親子自然観察会-手賀沼用水路で魚とり！	手賀沼水生生物研究会	81名
	9/29	川めぐりと木下の史跡散歩	我孫子の文化を守る会	20名
	10/6	我孫子の歴史景観船上見学会	我孫子の景観を育てる会	19名
	10/20	手賀沼賞 エコ・こども教室	我孫子市環境レンジャー	発表58名 クイズ372名
	11/10	船戸の森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほり	船戸の森の会	75名
	11/24	手賀沼親子ふれあい探鳥会～親子で手賀沼周辺 の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう～	我孫子野鳥を守る会	27名
流山	12/7	手賀沼で遊ぼうー船上見学、魚とり体験、鳥の博物	流山市立博物館友の会	40名
松戸	7/27	もっと知ろう手賀沼～水調べと手賀沼船上観察		19名
	8/3	もっと知ろう手賀沼～学習会「今、私たちをとりまく大気は」	松戸環境ネットワーク	9名
		「水調べ」まとめの報告集作成		
鎌ヶ谷	10/6	大津川をみんなできれいにしよう	鎌ヶ谷・大津川を清流にする会	14名
	11/21	手賀沼流域の治水	かわ・水・みどり	17名
	11/9	竹炭・華炭を焼こう	栗野の森の会	30名
白井	11/16	ぐるっと一周平塚の里	NPO法人しろい環境塾	12名
印西	8/3	亀成川生きもの観察会	亀成川を愛する会	40名
	9/23	里山散策会①浦部川に沿った里山の散策と和泉の 獅子舞見学②初秋の里山自然と歴史コース	印西ウェットランドガイド	①55名 ②雨天中止
	10/29	水の旅～北総浄水場見学と手賀沼船上観察	印西 水と暮らしを守る会	26名
	10/27	手賀沼の魚を観察してみよう	千葉県手賀沼親水広場	19名

地域企画合計			1,414名
全体会	10/19	林良博さん講演会	145名
	2/14	「こんぶくろ池」と「こうのとりの里」見学	54名
全体会合計			199名
2013年度総合計			1,613名

(3)手賀沼流域協働調査を実施します。

「手水協、県、市などの自治体とともに湧水調査、手賀沼流域河川の水質・生物調査を行います。」について

6月の事前研修会に参加し生物調査方法について学び湧水及び河川の水質調査等を実施しました。湧水調査は16地点（前年13地点）に増加し、内美手連構成団体は6地点（前年3地点）を6月と12月・1月に実施しました。河川調査は25地点を6月に水生生物調査（一部地点）も合わせて実施、12月・1月は水質調査を実施しました。美手連は全体の約6割の地点を調査しました。3月に開かれた手賀沼流域協働調査に係るワーキングには5団体が出席しました。

【美手連、加盟団体参加状況】

調査内容	行政区	河川名	場所	参加団体
春期湧水	柏市		大井小山台、大井中ノ橋前	大津川をきれいにする会 沼南手賀沼ボランティア会
	印西市		古新田、大森呑内、宗甫東割、大森下ノ辺田	亀成川を愛する会
春期河川、 水生生物	柏市	大津川	高柳馬渡付近 高柳かにうち橋付近	大津川をきれいにする会
			大井二子橋	
		染井入落	宮前	沼南手賀沼ボランティア会
	柏市	大堀川	導水注入前、導水注入後 後原上樋管、天神前樋管 礫間浄化装置前、礫間浄化装置後 篠塚樋管、篠籠田橋樋管 木崎台樋管、地金堀合流前 地金堀樋管、地金堀合流後	大堀川の水辺をきれいにする会
	印西市	亀成川	水神橋、花輪橋、別所青年館 古新田第四橋、滝、京免一号橋	亀成川を愛する会
	我孫子市	直接流入	都部新田（湖北集水路） 岡発戸（湖北集水路）	ふれあい手賀沼の会、我孫子野鳥を守る会、岡発戸・都部の谷津を愛する会、NPOせっけんの街、エコライルあびこ
冬期湧水	柏市		大井小山台 大井中ノ橋前	大津川をきれいにする会 沼南手賀沼ボランティア会
	印西市		古新田、大森呑内、宗甫東割、大森下ノ辺田	亀成川を愛する会

冬期河川	柏市	大津川	高柳馬渡付近	大津川をきれいにする会
			高柳かにうち橋付近	
			大井二子橋	
		染井入落	宮前	沼南手賀沼ボランティア会
	大堀川	導水注入前、導水注入後 後原上樋管、天神前樋管 礫間浄化装置前、礫間浄化装置後 篠塚樋管、篠籠田橋樋管 木崎台樋管、地金堀合流前 地金堀樋管、地金堀合流後		大堀川の水辺をきれいにする会
		水神橋、花輪橋、別所青年館、 古新田第四橋、滝、京免一号橋		亀成川を愛する会
	印西市	亀成川		
	我孫子市	直接流入	都部新田（湖北集水路） 岡発戸（湖北集水路）	
			ふれあい手賀沼の会、あびこ野鳥 を守る会、NPOアルバトロスヨット クラブ、我孫子の文化を守る会、 手賀沼にマシジミとガシャモクを 復活させる会、船戸の森	

3. 啓発事業

(1) 次世代に対する環境学習事業

「こども達が手賀沼に触れる機会を増やし、『手賀沼』を伝えます。」について

(i) 流域フォーラムの親子企画

流域フォーラムの 13 企画が親子企画として開催され、たくさんの親子参加がありました。手賀沼水生生物研究会「手賀沼親子自然観察会-手賀沼用水路で魚とり！」とアルバトロスヨットクラブ「手賀沼親子体験ヨット乗船会」にはそれぞれ 100 名を超える参加申し込みがありました。船戸の森の会「船戸の森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう」や、我孫子市環境レンジャー「手賀沼賞エコ・こども教室」の自由研究の発表とアビスタストリートでの展示とクイズにも、おおぜいの子ども達が親子で参加しました。

我孫子市石けん利用推進協議会「手賀沼の生き物にもやさしい生活を一せっけんでやさしさ♪♪」には、専修大学松戸高校放送部の学生が取材で参加し、いっしょに学習しました。また、流山企画の「手賀沼親子クルージングツアー」と、松戸企画「手賀沼をもっと知ろう！～水調べと手賀沼船上見学、河川の定点観察」は、流域の子どもたちが手賀沼にふれ、知る機会となりました。

(ii) 「手賀沼のいきもの」リーフレットの作成

手賀沼流域フォーラム事業として、「てがぬまのいきもの」リーフレットを作るため、コンセプトにふさわしい方々に編集委員をお願いして準備を進めました。対象は幼稚園児から小学校 1・2 年生とし、観察・体験の楽しさ、手賀沼に行ってみたくなるようなワクワク感を伝えるものを目指しました。また、その親世代に特定外来生物についても伝えられるよう編集しました。

(iii) 東京大学自然環境野外総合実習への協力

東京大学大学院山室真澄教授から、24 年度に続き新入生実習への協力依頼があり、昨年度の反省点を踏まえて準備を進めました。自然環境学専攻の学生 38 名、先生 13 名が参加し、美手連 8 名が対応しま

した。船上見学では、昨年作成した「里沼 手賀沼の変遷」を紙芝居にして説明しました。

(2)手賀沼とその流域に関する情報の提供

「ホームページの充実を図ります。加盟団体と連携して、刊行物出版により、手賀沼に係る情報を広く提供していく。」について

24年度にホームページの内容を整理し更新しました。25年度は、講演会・勉強会等のお知らせ、活動報告についての掲載をすることができませんでした。更新体制について早急に検討が必要です。

(3) 学習会・講演会・見学会の実施

「手賀沼流域の環境を良くするため、幅広く知識を深める機会を設けます。」について

(i) 講演会の開催

25年度の総会後に、「みためし田んぼから学ぶ」と題して、当会顧問の小倉久子さんの講演会を実施しました。印旛沼・流域の環境再生事業として、2005年度より5年間、冬期湛水・有機農法の水田と慣行田との比較実験（米の収穫量・水質・土壤・生物などを調査・検討）をされた報告をしていただき、冬水たんぼの環境保全・再生に対する有効性を教えていただきました。

(ii) 研修会の開催

千葉県手賀沼土地改良区を訪問し、土地改良区の役割、洪水対策、2500haの水田の灌漑用水運用等について教えてもらいました。手賀沼浄化への関心も高く、協力してできることがあると感じました。

(4) 勉強会

「会員相互の理解を深め、連携を図るため実施します。」について

目的は各団体の活動目的や内容を共有すること、さらに、手賀沼とその流域の環境保全について知識を高めるために実施しています。25年度は以下を実施しました。

4月理事会後 「四ツ池湧水池の保全について」 手賀沼水生生物研究会 鈴木盛智さん

10月理事会後 「新入会員向オリエンテーション資料の作り方」 我孫子野鳥を守る会 間野吉幸さん

4. 在来生態系の保全復元活動

「手賀沼流域の豊かな生態系をよみがえらせるために、保全・再生活動に取り組みます。」

(1) 行政・研究者・加盟団体とともに調査・研究をすすめます。

(2) 生態系の保全・再生活動に取り組みます。

(3) 外来生物の駆除活動に取り組みます。

(4) ハス群落について、行政とともに調査研究をすすめます。」について

1) ハス群落の拡大、魚類・貝類、特定外来生物の調査事業

24年度に行った手賀沼流域フォーラムの調査報告会では、ハスについては駆除するべきとの意見で一致し、特定外来生物についても、早急に対策を進めなくてはならないことが共有されたことから、流域フォーラム実行委員会からの委託事業として、「ハスの刈り取り実験」、「魚類・貝類調査」、「特定外来生物ナガエツルノゲイトウ、オオカワヂシャ等の生息調査」を実施しました。魚類調査は手賀沼水生生物研究会、オオカワヂシャの自生地等の調査は手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる

会が中心となって実施しました。

ハスの刈り取り実験は、中央博物館研究員林紀男さんに協力をいただき協同研究として実施しました。6月にハス群落の沖側の最先端部分を約400m²刈り取りましたが、効果の判定ができない結果となりました。刈り取り手法や実施箇所について、慎重に検討をする必要があります。

2) 特定外来生物の駆除活動

ナガエツルノゲイトウ、オオカワヂシャ、オオフサモの防除活動に取り組むため、環境省の特定外来生物法に基づく防除認定申請を進めました。申請にあたり、柏土木事務所、柏市環境保全課、我孫子市手賀沼課、手賀沼土地改良区を訪問し、申請の目的や防除作業内容について説明し了承を得ました。

ナガエツルノゲイトウについては、柏土木事務所と相談し、千葉県河川海岸アダプトプログラムとして、協働で取り組むこととしました。3月に、手賀沼公園の小池ボートと湖上園の間の沼岸の群落を対象に、遮光シートで被い枯れ死させるための、遮光シート設置作業を実施しました。啓発のための看板は柏土木事務所が設置しました。

オオカワヂシャについては、引き続き生息調査と引き抜き作業を実施しました。

3) 亀成川源流部の生態系保全に関する支援活動

亀成川を愛する会が取り組んでいる亀成川源流部の生態系保全活動を支援するため、UR・県・企業庁・印西市宛の「千葉ニュータウン21住区に残る全国的にも貴重な生態系を活かしたまちづくりを求める署名」活動の賛同団体となり、署名活動に協力しました。

4) 染井入落の生態系保全に関する支援活動

平成24年度、染井入落の土水路では、湛水防除（農地防災）を目的として三面張り護岸への改修工事が進む中で、多数の貴重種が生息していることが判明しました。柏自然ウォッチャーズ、柏ホタルの会、手賀沼水生生物研究会、美手連、科学ジャーナリストやビオトープ管理士などの専門家、沼南高校の生物の先生、柏市環境保全課が生態系保全について話し合い、県農林水産部東葛農業事務所に工事中止の申し入れを行いました。県としては、工事中止はできないものの、最大限生態系に配慮した工法を考慮するとの回答がありました。25年度も「『染井入落』環境に配慮した幹線排水路整備の検討会」を継続して話し合いを行い、工事区間 340mのうち240mについて北側護岸を浸透性のある構造とし、河床は、一部に土の部分を残し保管していた覆土を戻し、水草等の再生を計ることとなりました。生き物については、救出作戦を行い、千葉県のレッドリストに登録されている貴重種を上流部等へ移しました。美手連も参画して、短期間に、河川工事の変更、生物の保全をすることができました。

5. その他

「美手連の目的を達成する事業について支援します。」について

1) 手賀沼基金

千葉西部読売会柏東支部・柏西支部、千葉北部読売会我孫子支部が主催する「読売サロンコンサート チャリティー」から、44万円8千円の寄付をいただきました。寄付者の思いに応えられるよう有意義な使途について議論し、40万円を手賀沼基金に繰り入れ、残金を活動事業費に入れ、ナガエツルノゲイトウの防除活動の費用の一部として使いました。

手賀沼基金では、亀成川を愛する会の署名活動資金を作るためのカレンダー制作費用に5万円を、美手連のプロジェクト購入費用として5万円を助成しました。

2) 手賀沼学会

八鍬会長が学会運営委員会の副会長として参画しています。手賀沼学会では設立10周年の記念講演会を開催しました。

3) エンジョイ手賀沼

後援団体として物品の貸出等で協力しました。

4) 千葉県手賀沼親水広場運営会議

25年度は2回開催され、八鍬会長が運営会議委員として参加しました。

5) 「地域コミュニティ活性化支援事業」円卓会議

千葉県地域コミュニティ活性化支援事業は、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域コミュニティを再生するため、市町村、市民活動団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業など多様な主体が協働で地域課題の解決に取り組み、県が支援する仕組みです。25年度は4回の会議を行い、久寺家街づくり協議会とともに、高齢者支援システムづくりを行いました。

平成 25 年度 美しい手賀沼を愛する市民の連合会 活動記録

月 日	会議、独自事業	行政・他団体との協働事業 及び他団体事業への参加
4月	4日	「染井入落環境配慮工法検討会」
	5日 東大自然環境野外総合実習	
	7日 理事会	
	15日	第1回染井入落生き物調査
	19日 運営委員会	
	30日 大津川調査(特定外来生物)	
5月	4日 大堀川上流調査(特定外来生物)	
	8日	フォーラム実行委員会(第1回)
	10日	手水協担当者会議
	11日 手賀沼生き物調査(魚・貝類)	
	12日 大津川支流調査(特定外来)生物	エンジョイ手賀沼
	15日 運営委員会	「染井入落環境配慮工法検討会」
	26日 大津川調査(特定外来生物)	
	28日	手水協幹事会
6月	1日 総会と講演会「みためし田んぼから見えて 来たこと」講師小倉 久子さん	
	2日 手賀沼生き物調査(魚・貝類)	
	6日	手水協協働調査ワーキング
	13日	フォーラム実行委員会(第2回)
	18日	協働調査【湧水】柏 、【河川水質、水生生物】 大堀川
	20日 運営委員会	
	22日	協働調査【河川水質、水生生物】我孫子
	26日	協働調査【河川水質、水生生物】柏大津川、 染井入落、【湧水】柏大井
	27日 ハスの勢力を弱めるための実験(刈取)	
	28日	協働調査【湧水】印西、【河川水質、水生生物】印西
7月	5日	手水協総会・手賀沼親水広場運営委員会
	6日	第10回手賀沼学会大会
	7日 理事会	
	17日	フォーラム実行委員会(第3回)
	18日 運営委員会	
	23日	「染井入り落環境配慮工法検討会」
	26日 手賀沼船上調査(特定外来生物)	

8月	22日	運営委員会	
9月	8日	手賀沼生き物調査(魚・貝類)	
	12日		フォーラム実行委員会(第4回)
	19日	運営委員会	
	25日		我孫子市ふれあい清掃実行委員会
10月	6日	理事会	
	8日		フォーラム実行委員会(第5回)
	10日		白井市環境保全課とクリーンデイ話し合い
	17日	手賀沼ビオトープの埋土種子について (千葉県柏土木事務所)	
	19日		フォーラム全体会 「動物を絶滅から救うことの意味」 「カモから見た手賀沼～手賀沼のカモが減少したのは何故なのか～」
11月	24日	運営委員会	
	27日		手賀沼エコマラソン
	28日	大津川調査(特定外来生物)	
12月	10日	大津川調査(特定外来生物)	
	13日		フォーラム実行委員会(第6回)
	14日	研修会 手賀沼土地改良区	
	22日	関東地方環境事務所訪問	
	24日	大津川調査(特定外来生物)	統一クリーンデイチラシ 76,000枚を新聞折り
	26日		手水協担当者会議
	27日	運営委員会	「地域コミュニティ活性化支援事業」円卓会議
	29日	ふれあい緑道の件で千葉県柏土木事務所訪問	
	1日		統一クリーンデイ 柏、我孫子、柏沼南下手賀沼地区、印西亀成川地区
	5日		協働調査【河川水質】大堀川
	7日	大津川支流逆井(特定外来生物)	
	8日		統一クリーンデイ 白井金山落
	12日		協働調査【河川水質】我孫子地区中央排水路等
	12日	特定外来種防除に係る説明(手賀沼土地改良区)	
	13日		フォーラム実行委員会(第7回)
	13日		協働調査【湧水】大津川、【水質】大津川染井
	15日	大津川支流逆井(特定外来生物)	

12月	18日		協働調査【河川水質】大堀川
	20日	特定外来種防御に係る説明(千葉県柏土木事務所)	
	21日	大津川上流調査(特定外来)生物	
	24日	特定外来生物防御に係る説明(我孫子市手賀沼課)	
	26日	特定外来物防御に係る説明(柏市環境保全課)	
	26日		協働調査【河川水質】印西、【湧水】印西
	26日	運営委員会	
1月	12日	大津川調査(特定外来生物)	
	13日	理事会	
	16日	運営委員会	フォーラム実行委員会(第8回)
	26日	大津川調査(特定外来生物)	
2月	2日	大津川支流合流点調査(特定外来)	
	14日		フォーラム見学会「こんぶくろ池自然博物公園」と「こうのとりの里」
	23日	大津川調査(特定外来生物)	
	26日		第2回千葉県手賀沼親水広場運営委員会
	27日	運営委員会	フォーラム実行委員会(第9回)
	28日	運営委員会	
3月	2日	大津川調査(特定外来生物) 手賀沼生き物調査(魚・貝類)	
	3日	ナガエツルノゲイトウ除去のための遮光シート設置打ち合わせ 千葉県柏土木事務所	
	6日		協働調査ワーキング
	13日		手水協専門委員会
	16日	大津川調査(特定外来生物)	
	20日		印旛沼水質保全協議会・手賀沼水質保全協議会共催による研究会「農地からの窒素排出負荷削減対策について」
	23日	ナガエツルノゲイトウ遮光シート設置	
	27日	運営委員会	